

# 協 会 記 事

平成30年4月20日(金)、旭川グランドホテルにおいて平成30年度通常総会を開催し、平成29年度事業報告、決算書類及び財産目録、役員の一部改選、役員の報酬額、会費の額、平成30年度事業計画及び収支予算等について審議し、いずれも承認されました。

## 平成29年度事業報告について

### 1 会員の動向

年度当初152名、入・退会異動により平成30年3月末現在で148名となった。

### 2 諸会議の開催

平成29年4月21日第1回理事会、第2回理事会及び平成29年度通常総会、平成30年2月16日第3回理事会を開催した。

### 3 普及事業

#### (1) 林産技術普及事業

ア 木材利用に関する相談事業を実施

イ イベントの開催

①総会記念講演(建築における木材の有効利用を考えるー株式会社日建設計常務執行役員 山梨友彦氏)

②木のグランドフェアの開催

北海道立総合研究機構林産試験場と共催で開催した(平成29年7月29日～10月2日)。

期間中の来場者は1,378名、うち「木になるフェスティバル」は571名。

・木になるフェスティバル

平成29年7月29日に実施した。内容は、木を科学する実験、見学、工作体験、工作キットやチップ販売等。

・木工作ひろば

平成29年8月6日に親子(小学生)を対象に実施した。参加者は10組27名。

・第25回北海道こども木工作品コンクール

応募数は22校326作品。平成29年9月13日～10月1日、情報館に展示した。

③木を知って楽しむ見学会

平成29年8月3日市内の小学生(3年生以上)を対象に実施した。参加者は16名。

ウ 会誌・図書が発行事業

764～775号の「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を発行した。

エ ホームページの活用

イベント、講習会の開催情報を随時提供した。

#### (2) その他事業

ア 展示品維持管理事業

展示品維持管理業務を道総研から受託した。

イ きのこ栽培試験管理事業

きのこ栽培試験管理業務を道総研から受託した。

ウ 講習・物販等事業

①木材接着講習会(旭川市、平成29年7月13,14日、受講者6名)

②林産技術セミナー(釧路市、平成30年2月19日参加者43名、苫小牧市、平成30年2月26日参加者28名)

③会員企業支援事業(4社に助成)

④木材製品販売等事業

・「上川地域水平連携協議会」事務局として活動した。

・木工工作キットをイベント等で販売した。



平成29年度 正味財産増減計算

収入の部		支出の部	
会費収入	2,664,460	事業費	18,046,919
林産技術普及事業収入	218,150	管理費	1,569,083
受託事業収入	17,362,200	次期繰越金	14,882,213
講習物販等事業収入	192,984		
受取民間助成金	150,000		
雑収入	90,152		
前期繰越金	13,820,269		
計	34,498,215	計	34,498,215

平成30年度事業計画及び収支予算

平成30年度事業計画

1 諸会議の開催

平成30年4月20日、平成30年度通常総会を開催した。

2 講演会、講習会の開催

平成30年4月20日、総会記念講演会（「木材業界とSC業界の連携戦略を考える」株式会社サンポップ専務取締役 松野宏氏）を開催した。

3 林産技術普及事業（実施事業等会計）

木材加工技術の研究促進や技術向上、民間企業への導入促進、一般市民の木材活用技術についての理解醸成を図るため、次の事業を実施する。

- (1) 一般市民からの林産技術や木製品に関する質問、電話等による問合せに対し、簡易な説明と林産試験場、木材関連企業の紹介等を行う。
- (2) 林産試験場と共催で「木のグランドフェア」等のイベントを開催する。
- (3) 一般市民に対し、木材利用の促進を図る普及活動を実施する。
- (4) 会誌「ウッディエイジ（木材の研究と普及）」の776～787号を月刊発行する。
- (5) 公設試験研究機関、大学、木材加工企業等に対し、会誌及び木材乾燥や木材加工等に関する技術資料の提供に努める。
- (6) 当麻町産カラマツ材等を使用した当麻町役場新庁舎見学会を6月7日に開催する。

4 展示品維持管理事業（その他事業）

林産試験場木と暮らしの情報館に係る「展示品維持管理業務」の受託に努める。

5 きのか栽培管理事業（その他事業）

林産試験場の「きのか栽培試験管理業務」の受託に努める。

6 講習物販等事業（その他事業）

林産技術の普及、技術を活用した製品の普及事業を実施する。

- (1) 講演会、講習会を開催する。
- (2) トドマツ等地域材利用促進を図る「上川地域水平連携協議会」の活動を支援する。
- (3) 会員企業が林産試験場へ依頼試験等を行う場合、費用の一部を助成する。
- (4) 簡易な木製品、木工材料の提供に努める。

平成30年度収支予算

収入の部		支出の部	
会費収入	2,720,000	事業費	18,576,650
林産技術普及事業収入	200,000	管理費	1,570,000
受託事業収入	17,322,800	次期繰越金	15,279,863
講習物販等事業収入	150,000		
受取民間助成金	150,000		
雑収入	1,500		
前期繰越金	14,882,213		
計	35,426,513	計	35,426,513